

十中だより

2月号

令和6年2月7日
文京区立第十中学校
校長 南 英昭

平和について考える

今月でロシアとウクライナとの戦争が2年になります。現地では、2年間で多くのいのちが失われ、今なお苦しい思いをしている人たちが大勢います。各国からも停戦を求めています。終わりの見えない戦いが今でも続いています。1日も早く戦いが終結することを願うばかりです。

「戦争は簡単に始まるが、終わらせるのは難しい」

この言葉は、1月24日（水）に1，2年生を対象として実施した平和に関する講演会の中で講師の鈴木道子さんがおっしゃっていた言葉です。鈴木道子さんは、終戦時の首相である鈴木貫太郎氏のお孫さんです。首相としての身の危険を感じながらの決断や苦悩について、当事者でしかわからない貴重なお話をたくさんうかがうことができました。

「戦争は、それぞれに自分たちの言い分があるが、戦争自体に正義はない」

当時は、「終戦」とか「平和」という言葉を口にできない時で、抗戦派の終戦を認めない人たちから、襲撃されることさえあったそうです。今では想像が付きませんが、本校学区にあった首相の自宅も狙われ、焼けてしまったそうです。首相就任を2度断り、自らの命をかけて決意と勇気をもって就任し、難しい状況の中、日本を終戦に導いた鈴木首相。この大業を成し遂げられる人物は鈴木貫太郎氏の他にいなかったかもしれません。その平和を願う首相は、最後に「永遠の平和」と2度唱えこの世を去ったそうです。



先人の方々の尽力によって、現代の日本の平和があります。今、われわれにできることは、何でしょう。誰もが平和を願っているが、争いはなかなかなくなりません。平和とは何か、平和を維持するためには、どうしたらよいか。改めて深く考えさせられる機会となりました。

最後に、このような貴重な講演会の開催にご協力いただいた町会の皆様に感謝申し上げます。

講演後の生徒の感想を紹介します

今回の平和学習の講演を通して、戦争の恐ろしさや、平和の大切さ、そして今私たちがいかに幸せかということをも改めて深く学び、理解することができました。また、鈴木貫太郎さんの立場になってみないと絶対に感じる感情や様々な気持ちがあったことを知り、とても複雑な感情になりました。しかし、そのようなエピソードを通して戦争と向き合ってくださった方々がいらしたからこそ、現在の私たちの生活があることを理解し、感謝するきっかけになりました。今回学んだことを今後活かし、戦争の存在を忘れないよう過ごしていきたいと思えます。

本物に触れる



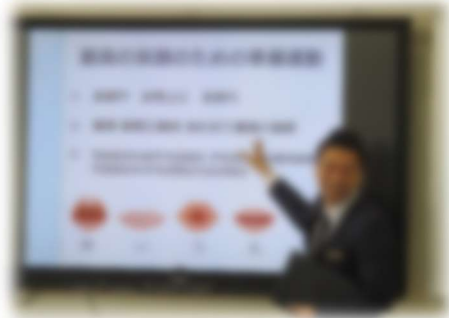
1月15日、16日の2日間で全学年を対象とした和楽器体験授業を実施しました。学級ごとに音楽の時間の中で、和楽器の演奏家の実演と箏・尺八にわかれて実際に楽器に触れ、和楽器の音色を奏でることができました。特に、3年生は過去2回の経験を生かし、手慣れた様子で箏の演奏に励んでいました。

また、12月には、2年生が学級ごとに音楽の授業で、ノイエ・シュタット五重奏団の方による特別演奏を間近で聴くことができました。講師の方の専門的なお話や楽器の様々な奏法を披露していただき、音楽の知識や理解が深まりました。多くの生徒が演奏に魅了され、音楽に関して、さらに興味関心が高まる有意義な時間となりました。



東京寺子屋

1年生は、2月2日（金）に望ましい職業観・勤労観の育成を目的として、働くことの意義ややりがいなどを学ぶ「東京寺子屋」を実施しました。東京ドームホテル、東京新聞、鈴木商店、東京ケーブルネットワーク、やり動物病院の方々にご協力いただき、生徒は2職種を選択し、1時間ずつ2回に分けて貴重なお話を聞くことができました。職業に関する理解を深めることはもちろんのこと、社会人の方々とのふれあいを通して、人との接し方やマナーについても学ぶ良い機会になりました。ご協力いただいた皆様ありがとうございました。



表彰、活動報告等

活動の名称	実績・連絡・案内等
卓球部	東京都中学校新人卓球大会(区部) [男子団体] 第3位 [女子個人] 第5位
吹奏楽部	東京都中学校アンサンブルコンテスト(金管八重奏) 銀賞 JBAとうきょう&かながわ管打楽器ソロコンテスト 優秀賞

☆団体表彰☆

第十中学校で実施している授業改善の推進に関して、東京都教育委員会より表彰を受けました。学校全体で取り組んできた成果であり、教員、生徒全員でいただいた表彰です。

